

# 画像診断各賞 発表

「画像診断」賞を下記の通り謹んで発表いたします。

2023年年間各号寄稿論文のうち、本誌実行編集委員会で、教育性の高い優れた論文として選ばれた下記の論文に、「画像診断」MVP (The Most Valuable Paper of the Year) 賞を贈らせていただきます。また、企画が優れており、好評であった特集、連載をご企画、ご監修いただいた先生に、「画像診断」Best Invited Editor (The Best Invited Editor of the Year) 賞を贈らせていただきます。

## 第29回「画像診断」MVP賞 受賞者論文および受賞者

### 「頭頸部病変から予測する原発巣」

2023年11月号 (Vol.43 No.13) 掲載

特集〈これであなたも名探偵！ 転移の画像所見から原発巣を当てる〉

子安 翔先生

京都大学大学院医学研究科放射線医学講座 (画像診断学・核医学)



#### 受賞のメッセージ

神田知紀先生が企画された2023年11月号特集は、鋭い主題と深い知識に溢れ、読者としても愉しく拝読させていただきました。その一部分に著者として名だたる面々に並べていただけたのみならず賞まで賜り、関係の皆様方、そして共著の櫻田紘基先生に感謝申し上げます。

臨床の現場で有用だったことを共有できればと執筆いたしました。現場を支える先生方の心に届けば幸いです。いつも実践と学びの場をくださる当院の頭頸部がんユニットの皆様方、お世話になっている同門の先輩や同僚の皆様方、そして日々刺激をくださる優れた後輩たちに、今一度深謝いたします。

## 第20回「画像診断」Best Invited Editor賞 受賞者

### 〈腸炎・腹膜炎を読み解く―病態と画像所見の対比〉

2023年10月号 (Vol.43 No.12) 特集企画

谷掛雅人先生

藤沢市民病院放射線診断科 (前 京都市立病院放射線診断科・IVR科)

#### 受賞のメッセージ

自分が苦手な感染性腸炎と急性腹膜炎をきちんと学べるものを作りたい、と同時に、病理組織の得られないこれらの疾患で、その画像所見の意味をどうやって裏付けるのか。本特集はそんな課題への挑戦でした。しかし、私の意図を汲んでご執筆くださった各著者の先生方、この企画を採り上げてくださった『画像診断』編集委員会のおかげで、まさに自分が思い描いていた1冊が完成しました。さらに、このような栄誉に賜れたこと、改めて関係各位に深く感謝申し上げます。

序説にも記したとおり、救急疾患の画像診断はまだ気づかれていないことがたくさんあります。目を通してくださった皆様の知見、ご意見を重ね、より診療に寄与する画像診断のセオリーを見出していきたいと思っております。



以上の先生方には賞状と賞金を授与いたします。

2024年4月吉日

株式会社 Gakken  
代表取締役社長 五郎丸 徹

## Case of the Month 2023年 成績優秀者発表

いつもCASE OF THE MONTHにご回答いただきありがとうございます。『画像診断』編集委員会より、年間を通して正答率の高かった成績優秀者を発表いたします。

対象期間：2023年1月号～12月号\*

- ◆9回正解 古田 寿宏先生
- ◆8回正解 真鍋 俊治先生
- ◆7回正解 高橋 秀典先生
- ◆7回正解 竹田 太郎先生

\* 出題不備のあった2023年7月号を除外しております

以上の先生方には、編集室より粗品を進呈いたします。おめでとうございます！